

積立基金

の活用で、保育・介護・雇用…

くらしの願い実現を!

日本共産党 江戸川区議団

第1回定例区議会報告



区長は、江戸川区は介護認定率が最低で、子どもの数が多いから一人当たりが低くなり、最下位は誇りだと述べました。しかし、介護認定率は最低でも10年前には福祉費は17位で、最下位は福祉を削った一昨年初めてです。子どもの数が江戸川区よりも多い世田谷区では、一人当たり児童福祉費が

福祉を削って「健全財政」?

1238億円のたためこみ金

2015年第1回定例区議会、江戸川区は過去最高の158億円の積立を行い、主な6つの基金(区の貯金)の総額は、1238億円となりました。これは昨年まで、23区トップだった港区を抜いて江戸川区がトップになる見通しです。

介護認定率最低、子どもが多いから?

2万円も多いのです。

やさしい江戸川区 いまは遠い話

区長への手紙に「3年前から結婚50年のお祝いが無くなったと聞き、とても残念に思います」とあります。私たちが昨年集めた区民アンケートでも「高齢者、子どもにやさしい江戸川区といわれていたのに今はとても遠い話です」と、福祉切り捨てに対する実感のこもった声が寄せられています。

地方自治の目的は「住民の福祉の増進」です。ため込んだ基金は削られた福祉の復活や、認可保育園、特養老人ホームの増設、正社員を雇う中小企業への雇用支援など切実な区民要求の実現にこそ使うべきです。

日本共産党区議団は、区のこうした基本姿勢を示す新年度予算に反対しました。他のすべての会派は賛成しました。

区民の声聞かず 庁舎移転を議決!



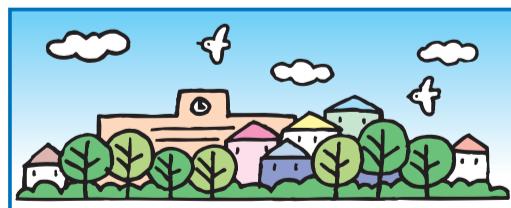
今議会では、自民・公明・民主改革・生活ネット・区民ひろば・青空など日本共産党以外の全会派の賛成で、現庁舎を船堀の都営住宅跡地に移転することを議決しました。区役所は区民のための仕事をする区民共有の財産です。年月の経過とともに老朽化が避けられない区役所の庁舎を、いつ、どこに、どのように建て替えるかは、区民にとって大切な問題です。区民合意のもとに進められるべきではないでしょうか。

情報公開と区民参加で

ところが、この問題を最初に話合った「公共施設のあり方懇話会」には、区民参加の象徴ともいえるべき公募の区民委員の参加は1人もなく、議事録も公開されていません。区役所の移転建て替えという、重大な問題を区民に知らせず、区民の声も聞かずに決めるのは、民主主義と住民自治に照らして間違っています。情報公開のもと区民参加と協働でこの問題に取り組むべきです。

区民の運動と区議団の質問で実現!

- 特養老人ホーム、5年間で4ヶ所実現
- 認可保育所、来年度3ヶ所増設
- 介護保険料100円値上げで4900円に抑制
- 要支援後退させず、サービスを維持
- 新制度での保育料値上げせず
- 赤ちゃんの「地域見守り事業」実施



くらしと区政 2015年3・4月 No.217

発行/日本共産党江戸川区議員団 江戸川区中央1-4-1

TEL 03-5662-5113/FAX 03-3674-6580
H.P・メールは日本共産党江戸川区議団で検索を

本会議質問 パソコンから
見ることができます